

## 第2回成果発表会を 研究交流棟の竣工式と同日開催

来る4月2日(火)、防災科研では、新設される研究交流棟の竣工式とあわせて、第2回成果発表会を開催します。

本所に建設される研究交流棟の工事は、無事故で順調に進み、あとは竣工式を待つだけとなりました。研究交流棟は所内外のコミュニケーションの場として期待されます。25席を有する講堂では、成果発表会などのシンポジウムが行われます。アトリウムには、広報用の展示物として、50インチのプラズマテレビが設置され、起こったばかりの地震の波が広がっていく様子をリアルタイムで見ることができるなど、随時、整備していく予定です。また、資料室が移転され、所外のみなさんにより使いやすいものとなります。食堂や宿泊室も設けられ、防災科研は今まで



以上に親しみやすく開かれた研究所と  
なっていくことでしょう。さらに、テレビ会議室も設けられます。大災害発生時には、緊急対策本部が設置され、本所と各支所の関係者が対応策を検討します。このように、研究交流棟の果たす役割は非常に重要なものとなります。

その交流棟の竣工式とあわせて行われるのが、年に1度の成果発表会です。今回は第1回目ということもあり、東京で開催し、300人を越す多くの方々に参加いただき、盛況のうちに終わることができました(2002震No.14参考)。今回で第2回目となる成果発表会は、新設された研究交流棟で開催します。今回は東京だったので遠くへ行けなかったという方は、是非ご参加ください。また、前回参加いただいた方は、防災科研が1年でどれほどの研究成果があがったのか、ご自分の目で確かめに、是非、足を運んでください。

今回はさらに、ノンフィクション作家の山根一真氏を迎え、「阪神・淡路大震災の体験と防災科学への大期待」と題して記念講演を行います。大期待という意表をついた題名にも見られるような、研究者とは違った観点からの防災講演を聞く、またとない機会です。多くの方々の参加をお待ちしております。